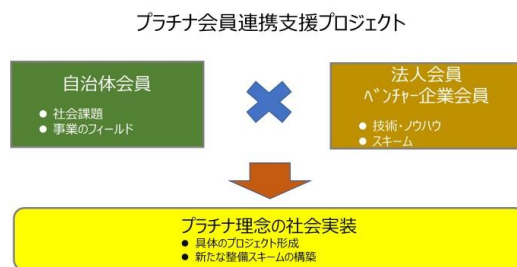


## 会員連携支援プロジェクト 中間総括

プラチナ構想ネットワークでは、プラチナコンセプトの社会実装を推進しています。その一環として、2019年2月より「プラチナ会員連携支援プロジェクト」を開始しています。技術・ノウハウを持った法人会員・ベンチャー会員とフィールドを持った自治体会員を結びつけ、社会課題解決に向けたプロジェクトの実現を目指しています。以下に、現時点までの活動の中間総括と今後の展開について報告します。

### 1. 具体的な支援活動

- 会員専用ページ内に会員連携支援サイトを立ち上げ、会員からご提案いただいた情報をアップ
- プラチナ懇談会、事務局メンバーによる会員訪問などの際に、ご提案内容を紹介し、関心のある会員とのマッチングを実施
- 事務局が触媒となって、会員相互のマッチングや中央官庁・学識経験者とのマッチングの場をセット



### 2. ご提案案件

No.	提案者	テーマ
A-001	株式会社シェルター 一般社団法人日本木造耐火建築協会	木造都市づくり – 都市（まち）に森をつくる–
A-002	三井住友銀行 SMBC 信託銀行 社会的投資推進財団	ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した社会課題解決
A-003	株式会社染めQテクノロジー	特殊塗料で街を安全安心に – 低コストなインフラ強靱化プロジェクト
A-004	株式会社 HIROTSU バイオサイエンス	これまでにない新たな“がん 1 次スクリーニング検査”『N-NOSE』の社会実装
A-005	信越化学工業株式会社 信越ポリマー株式会社	光触媒による公共施設・住環境等の清浄性・衛生性改善
B-001	岩手県	北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト
C-001	福岡看護大学 地域・在宅看護部門 教授 角森輝美	保健指導システム「ひさやま元気予報」の活用による住民の健康改善
A-006	株式会社三菱総合研究所	AI チャットボットによる総合案内サービスを起点とした行政の高度化
A-007	OAG 税理士法人	公会計を活用した財政課題の解決



### 3. マッチング状況

- 毎回のプラチナ懇談会（5 月@東京、6 月@東京、7 月@大阪、9 月@東京、10 月@福岡、11 月@広島）で、事務局から全ての案件を出席者（首長、経営者）向けに紹介。懇談会後に、出席された会員相互で連携に関する複数のマッチングが実現。
- 全ての提案案件につき、事務局による個別マッチング活動を展開。また、会員相互のみならず、中央官庁（林野庁など）や学識経験者（東大など）を紹介し、社会実装にかかるスキーム構築を支援。事務局が介在した個別マッチング活動は合計 20 件（ビジネス化に向けて調整中の案件も複数）。いくつかの案件は、事務局が調整しつつ継続協議。
- 第 6 回プラチナ大賞で優秀賞を受賞した三井住友銀行・SMBC 信託銀行・社会的投資推進財団の「ソーシャル・インパクト・ボンド」案件は、4 月のプラチナイブニングセミナーで詳細な説明の機会を提供。
- テレビ東京「ガイアの夜明け（2020 年 1 月 7 日放送）」で HIROTSU バイオサイエンスによる「がん 1 次スクリーニング検査『N-NOSE』」が取り上げられたが、事務局メンバーが取材協力。この取り組みは、2020 年 4 月のプラチナイブニングセミナーで詳細な説明機会を提供予定。
- 自治体からの唯一の提案である岩手県からの「北いわた産業・社会革新ゾーンプロジェクト」では、プラチナ懇談会の岩手県開催や岩手県主催の調査委員会への事務局長出席（委員）などで案件形成に協力中。高等専門学校での AI 教育や林業活性化などで具体の案件形成を支援。

### 4. 今後の展開

#### （1）連携案件を拡充する

- 第 7 回プラチナ大賞応募案件に会員連携支援プロジェクトへの応募を働きかけ（表彰だけに留まらない）
- その他、継続的に連携案件への応募を働きかけ
- 特に、自治体からの提案を募集中（岩手県からの提案が一つのモデルとなる）

#### （2）通常のマッチング活動を強化する

- プラチナ懇談会の場で提案案件を紹介（継続）
- プラチナ懇談会への提案者の参加を促し、直接にマッチングの機会を提供
- プラチナイブニングセミナー等で提案案件の詳細説明の場を設置

#### （3）第 13 回プラチナシンポジウムを社会実装推進の場とする

- 2020 年 2 月 27 日（木）に開催予定の第 13 回シンポジウムのテーマは「プラチナコンセプトの社会実装」
- シンポジウムの場を活用して社会実装支援強化を宣言し、会員連携支援プロジェクトを周知

以上、中間総括と今後の展開について報告いたしました。これからもプラチナコンセプトの社会実装支援を強化してまいります。ぜひ、会員連携支援プロジェクトをご活用ください。